清水町水道事業経営戦略（令和8年度見直し）概要版
計画期間：令和8年度～令和17年度

7. 収支見通～現行の料金水準を維持する場合～

■収支見通
今後の収支見通は以下の通りです。

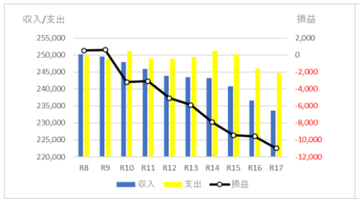
■収益的収支
令和17年度には令和6年度と比較して、約8百万円の減少。
令和10年度以降赤字決算となる。

■資本的収支
企業債償還が進み、企業債残高は計画期間内で約1.32億円の減少。

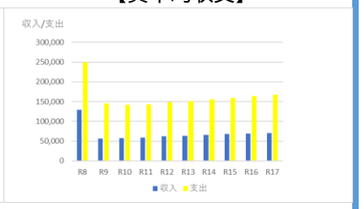
■経常収支比率
令和10年度以降、100%を下回り、令和17年度には91.03%の予測。

■料金回収率
令和12年度（中間値）は93.84%、令和17年度（目標値）では91.03%の予測。

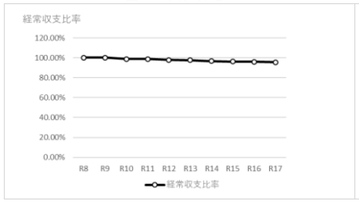
【収益的収支】



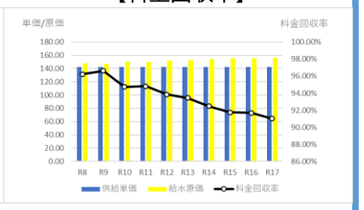
【資本的収支】



【経常収支比率】



【料金回収率】



現行の料金水準を維持する場合、令和10年度以降に赤字決算となり、令和17年度目標の経常収支比率を達成するのは困難。料金改定の検討が必要。

8. 収支見通～令和13年度に料金5%の改定を行う場合～

■収支見通
今後の収支見通は以下の通りです。
なお、料金収入以外は現行の料金水準を維持する場合と同条件とします。

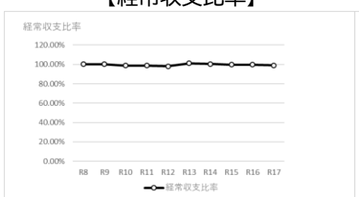
■収益的収支
料金改定を行うが、依然として収支は均衡せず、令和10年度以降赤字決算となる。

■経常収支比率
令和17年度には99.06%の予測。

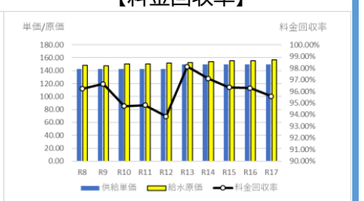
■料金回収率
令和12年度（中間値）は93.84%、令和17年度（目標値）では95.58%の予測。

【収益的収支】

【経常収支比率】



【料金回収率】



**上記の推計パターンの場合、目標の経常収支比率は中間値97.96%、目標値99.06%。
料金回収率は中間値93.84%、目標値95.58%となり目標未達成。**

9. 収支見通～令和13年度に料金10%の改定を行う場合～

■収支見通
今後の収支見通は以下の通りです。

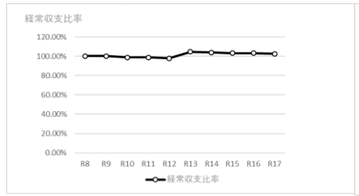
■収益的収支
料金改定により、経営状況は回復し、令和14年度以降、黒字決算となる。

■経常収支比率
令和12年度（中間値）は97.96%、令和17年度（目標値）では102.61%の予測。

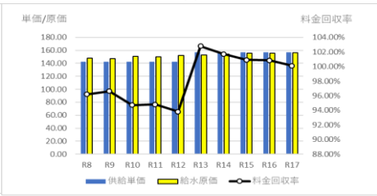
■料金回収率
令和12年度（中間値）は93.84%、令和17年度（目標値）では100.13%の予測。

【収益的収支】

【経常収支比率】



【料金回収率】

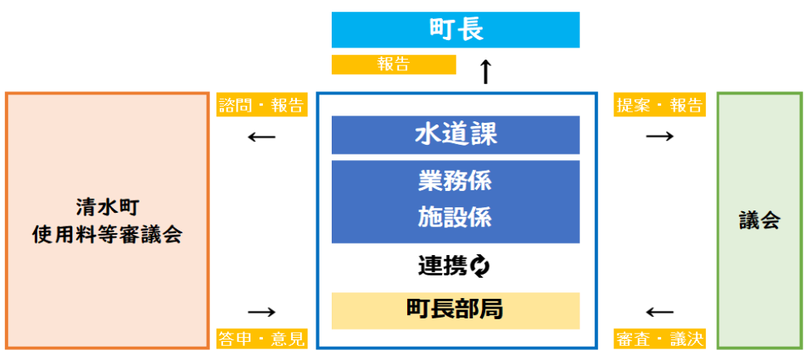


年度	経常収支比率	料金回収率
令和6年度	現状値：103.83%	現状値：100.74%
令和12年度	中間値：97.96%	中間値：93.84%
令和17年度	目標値：102.61%	目標値：100.13%

**上記のパターンで料金改定を実施する場合、計画期間内収支均衡となる。令和17年度目標の経常収支比率、料金回収率は以下の通り。
経常収支比率102.61%、料金回収率100.13%。経営の基本方針及び目標達成の為、本戦略では当該推計パターンで戦略を推進していく。**

10. 事後検証、改定等に関する事項

■事後検証、改定等に関する事項
本戦略の次回以降の見直しについては、料金の妥当性の検証及び検討や投資計画の進捗等、経営の変化にあわせて、2030（令和12）年度から定期的に行います。

また見直し及び検討にあたっては、清水町使用料等審議会への意見を求めます。
改定後は広く町民等へ公表することとします。

年度	2026（令和8）	2027（令和9）	2028（令和10）	2029（令和11）	2030（令和12）	2031（令和13）	2032（令和14）	2033（令和15）	2034（令和16）	2035（令和17）
経営戦略					改定					改定
使用料			検討		検討	改定予定	効果検証		検討